

## 市民活動サポートセンター運営協議会 第6回団体支援部会報告書(1/1)

<開催日時> 2022年12月8日 午後1時30分～午後3時50分

<開催場所> 市民活動サポートセンター

<出席者>

団体支援部会：廣田委員、柿崎委員、田久保委員、斉藤委員、森委員

市民協働課：矢田係長、菊池主事

<欠席者>

「添付資料」

資料1:部会開催案内/資料2:第5回団体支援部会報告書

資料3:第6回団体支援部会スケジュール表/資料4:団体アンケート(案)

資料5:プロボノ導入検討(まとめ)

<議事概要>

1. 第5回団体支援部会打ち合わせ内容確認

2. 今回検討項目の提案と検討内容

(1) 市民大学との連携と課題

- ・すべての学部ボランティアの取り組みへの提案を継続する。
- ・卒業後の活動サポートをどのようにしてもらいたいのか。  
⇒卒業生への案内(同意に基づくイベントの案内等)の仕組みを今後検討していく。
- ・学生が自ら参加し体験していく仕組み

(2) プレゼンテーションのスキルアップと課題

- ・パワーポイントのスキルに関する要望あり⇒市民活動フェアに関連して実施した動画作成講座では、全3回の講座の中でパワーポイントについても一部実施した。  
※パワーポイントはスキル(1つの手段)であり、他の講座でも代替可能なことから、運営協議会企画には沿わないのでは。
- ・スキルアップ講座に関しては市民交流事業及び団体支援部会でのすみわけが必要
- ・アンケートを土台に、来年度2回程度開催検討する。

(3) 参加団体の課題・問題点等の情報収集

- ・アンケート項目(案)に関して 1. 回答者属性はあなたを代表者に変更する。
- ・アンケート収集ツールに関して  
GoogleForms及び行政使用の電子申請システムの検討  
GoogleFormsは(作りやすさ)(集計が容易)(民間では多用されている)  
斉藤委員よりアンケートサンプルの説明がされた。
- ・市民協働課において収集ツールに関して結論を出す。  
⇒セキュリティの観点から電子申請システムを利用することとなった。
- ・実施の際は回答者の回答手段として紙ベースでの情報収集も併用。

- ・柿崎委員・団体支援部会の今後のあり方に関して検討が必要ではないか。
- ・アンケートの実施時期は令和5年2月上旬発送、3月末回収を想定。

(4) プロボノの調査、設立の検討、課題

- ・1/12にプロボノ上原氏（サービスグラント）と面談予定。  
意見交換し取り組みのメリット、デメリットを整理する。  
その際はプロボノの必要性、根拠を明確にする必要があるのではないか。  
他市（松戸市）等の導入自治体、団体の情報収集も並行して行う。
- ・プロボノ実施団体、ワーカーの集め方や費用感等課題があること。

3. 事務局連絡

- ・アンケート方法の選定は市側で結論を出す。
- ・プロボノ上原氏への連絡は市側で行う。
- ・次回開催日時アナウンス

以上

<次回開催予定> 令和5年1月12日(木)13:30~  
場所：市民活動サポートセンター

部会報告作成担当者  
森 次回 齊藤委員